

ハイチ政治・経済・社会情勢（5月）

*当国各種報道内容を取りまとめたもの。

政治

| 報道日 | 報道内容 |
|-----|--|
| 3日 | 2日、常設選挙管理委員会臨時委員会（CTCEP）が初めての記者会見を開催。ただし、2013年内に選挙を実施できる保証はない。 |
| 7日 | マルテリー大統領は、政党法及びクレオール語アカデミー法の成立に同意せず、二法案を議会に差し戻すことを決定。 |
| 7日 | 7日、アレクシー下院議長が、下院内で新しい議員グループ「政治均衡のための議員ブロック」（Parlementaires pour l'équilibre politique : PEP）が誕生したことを発表。下院議員20名ほどが所属する。 |
| 14日 | マルテリー大統領の就任から2年。 |
| 23日 | 上院議員らが、サンディの際の緊急資金50億グルドの用途についての説明を求めラモット首相を28日に召喚（その後召喚日は6月4日に延期） |

経済

| 報道日 | 報道内容 |
|-----|--|
| 5日 | 投資促進センター（CFI）が、アグリビジネス、IT・通信などの分野で既に設立されているペーパー会社の販売を開始。これにより会社設立にかかる時間を短縮でき、当国への投資の加速が見込まれる。 |
| 7日 | ハイチ商工会議所会頭らが経済ミッションで台湾を訪問。 |
| 7日 | 7日、国際金融公社（IFC）が国内の家族経営企業などの支援を目的としてポルトープランスで企業ガバナンスに関する会議を開催。 |
| 8日 | 国家食料安全保障調整局(CNSA)が、農作物の不作に伴い150万人が食糧不足の影響を受けるとの見通しを発表。 |
| 14日 | IFCが飲料水の供給会社 dloHaiti に82万米ドルのエクイティ投資。水へのアクセスの改善と雇用創出が見込まれる。 |
| 18日 | ベトナムから輸入した米1,8万トンがもうすぐ当国に到着。 |
| 22日 | プリヴェール上院財政委員会委員長が、歳入が予測より90億グルド不足していると発表し、公共財政状況への懸念を表明。政府予測は楽観的すぎると指摘し、外遊費削減などの緊縮政策の実施や汚職防止策の強化などを提言した。 |
| 23日 | 世銀が、西県、北東県、北西県等でコレラ、下痢、結核等に対する予防・治療や5歳以下の18万人の子どもたちに予防接種やビタミン剤支給を行うプロジェクトの実施のため7000万米ドルの贈与を行うことを決定。また、これとは |

| | |
|------|---|
| | 別にビジネス環境改善のため 2000 万米ドルの支援を行う。 |
| 24 日 | ドル高への対応策として、1500 万米ドルの資金を投じて中央銀行（BRH）が介入。 |
| 24 日 | 米州開発銀行(IDB)が、ハイチ政府による太陽光エネルギー、バイオマス発電、ハイブリッド方式等に関する実用化調査とパイロットプロジェクトの実施に係るエネルギー計画に 300 万米ドルの支援。 |
| 24 日 | 4 月の消費者物価指数は前年同月に比べ 7.3%上昇。 |
| 29 日 | 加 Air Transat のツアー参加者のアンケートによると 90%が大いに満足し、75%がハイチ料理を堪能し、大多数が家族などとまたハイチを訪問したいと回答した。米国でもハイチへのツアー参加者の募集が開始される予定 |
| 29 日 | カリコムと米国が貿易・投資に関する枠組協定（TIFA）に署名。 |
| 30 日 | CNN がネット上で行った調査に基づき「世界でもっとも美しいビーチ 100」を発表。当国のアバカ・ベイ（イラヴァッシュ）が 57 位。 |

社会

| 報道日 | 報道内容 |
|------|---|
| 9 日 | 8 日、アリスティド元大統領が証人として予審裁判所に出廷。支持者約 2000 人が裁判所前に集結。9 日、アリスティド元大統領は 2011 年 3 月の帰国以来初となる記者会見を開催。 |
| 11 日 | 10 日、当地でハイチ援助効率化委員会国際レベル会合が開催され（議長：ラモット首相）、ハイチ政府のイニシアチブの下、援助協調を図っていくことを確認。ビル・クリントン元米国大統領、ミカエル・ジャン UNESCO ハイチ特使（前カナダ総督）、各国代表者らが出席。 |
| 20 日 | 18 日（国旗の日）、元軍人数十人が、ポルトープランス市内で、ハイチ軍の再設立を求めてデモ活動。 |
| 27 日 | 26 日のポルトープランス空港でのブラジル軍用機事故により多数の便に影響。 |